

本稿は、8月9日時点で利用可能であった  
情報をもとに記述されている。

2010年8月10日  
日本銀行水戸事務所

## 茨城県金融経済概況

### 1. 概況

県内の景気は、輸出と生産の増加から、緩やかに回復している。

当面、景気は緩やかな回復基調を辿ると考えられる。もともと、海外経済や国際金融市場の動向、企業の中長期的な成長期待の動向などについて、このところ不確実性がやや強まっており、これらの要因変化には、引き続き注意が必要である。

すなわち、輸出や生産は、海外経済の改善などから増加が続いている。輸出は、輸送用機械、一般機械、電子部品・デバイスが、新興国・資源国や米国向けを中心に増加している。生産は、輸送用機械、電気機械が、フル生産を続けているほか、一般機械でも、フル生産に近づいている。電子部品・デバイスでは、高操業体制を維持している。

設備投資は、製造業を中心に業種の拡がりを伴いつつ、持ち直している。住宅投資も、分譲住宅を中心に下げ止まっている。雇用・所得環境は、厳しい状況が続く中、一部に持ち直しの動きがみられている。

個人消費は、耐久消費財の販売が引き続き好調であるほか、大型小売店の売上高が下げ止まりつつあるなど、全体として持ち直しに向かっている。この間、公共投資は減少している。

消費者物価(除く生鮮食品)の前年比は、経済全体の需給が緩和状態にあるもとで下落しているが、基調として、下落幅は縮小している。

金融面をみると、預金は堅調な伸びを示す一方、貸出は、残高の前年割れが続いている。この間、企業の資金繰りをみると、中小企業を中心としてなお厳しいとする先が多いうえ、久方振りに大口倒産も発生しているが、一部では引き続き改善の動きがみられている。

## 2. 実体経済

(1)輸出：新興国・資源国や米国向けを中心に増加している。

輸送用機械(自動車部品)では、このところ欧州向けがやや伸び悩んでいるものの、アジア(中国、インドネシア等)、米国向けが着実に増加している。一般機械(主として建設機械)では、アジア(中国、インドネシア等)、豪州向けの増加が続いているほか、米国向けなども持ち直しつつある。電子部品・デバイス(主として半導体関連)では、アジア(韓国、台湾、中国等)向けが堅調である。

(2)生産：輸出の増加や各種政策の効果から増加している。

輸送用機械、電気機械では、フル生産を続けており、両業種の中の一部の先では、夏季の操業停止期間を前年に比べ短縮する動きもみられている。一般機械でも、フル生産に近づいている。電子部品・デバイスでは、高操業体制を維持している。

なお、5月の鉱工業生産指数は、3か月振りに前月を下回ったが、年初来5か月連続で前年の水準を上回った。

この間、6月の大口電力販売量は、昨年未来7か月連続で前年を上回った。

▽ 鉱工業生産指数 (季節調整済指数の前月<期>比、( )内は原指数の前年比、%)

	2009年 10~12月	2010年 1~3月	4~6月	2010年 3月	4月	5月	6月
茨城県	5.5 (▲9.8)	8.7 (16.9)	n.a. (n.a.)	1.8 (21.8)	2.2 (23.2)	▲7.1 (16.2)	n.a. (n.a.)
全国	5.9 (▲4.3)	7.0 (27.5)	p 1.4 (p20.9)	1.2 (31.8)	1.3 (25.9)	0.1 (20.4)	p ▲1.5 (p 17.0)

(注)pは速報値。

(3)設備投資：製造業を中心に持ち直している。

鉄鋼、電気機械、食料品、輸送用機械、一般機械など幅広い業種の先で、能力増強や合理化・更新投資を実施もしくは計画する動きが窺われている。

(4)雇用・所得環境：厳しい状況が続く中、一部に持ち直しの動きがみられる。

6月の有効求人倍率は、製造業を中心とする新規求人数の増加から、2か月連続で上昇した。また、一部の先では、収益の回復を眺め、夏季賞与支給率(額)を前年対比で増加させた。

▽ 有効求人倍率 (季節調整済、倍)

	2009年 10～12月	2010年 1～3月	4～6月	2010年 3月	4月	5月	6月
茨城県	0.38	0.42	0.46	0.44	0.44	0.46	0.48
全国	0.43	0.47	0.50	0.49	0.48	0.50	0.52

(5)住宅投資：下げ止まっている。

6月の新設住宅着工戸数は、持家や分譲住宅の増加から前年を上回った。特に、分譲住宅は、昨年末来7か月連続で前年を上回った。

▽ 新設住宅着工戸数 (前年比、%)

	2009年 10～12月	2010年 1～3月	4～6月	2010年 3月	4月	5月	6月
茨城県	▲13.9	▲0.9	1.0	▲1.2	17.5	▲11.8	0.5
全国	▲20.9	▲6.6	▲1.1	▲2.4	0.6	▲4.6	0.6

(6)公共投資：減少している。

6月の公共工事請負金額(工事場所ベース)は、国や県の発注減少などから、前年を下回った。

▽ 公共工事請負金額(工事場所ベース) (前年比、%)

	2009年 10～12月	2010年 1～3月	4～6月	2010年 3月	4月	5月	6月
茨城県	12.8	▲17.8	▲3.0	▲28.6	▲13.4	14.9	▲3.1
全国	6.3	▲11.8	▲3.5	▲16.0	▲0.1	▲5.9	▲5.8

(7)個人消費：乗用車や家電の販売が引き続き好調であるほか、大型小売店の売上げも下げ止まりつつあり、全体では持ち直しに向かっている。

6月の大型小売店売上高(日銀調べ)は、衣料品、雑貨、食料品などの売上げ増加から、2008年10月以来20か月振りに前年を上回った。特に、子ども手当の支給開始(6月)を眺めて導入した各社の夏物衣料品などの販売促進策も奏功した模様である。

▽ 大型小売店売上高 (前年比、%)

		2009年 10～12月	2010年 1～3月	4～6月	2010年 3月	4月	5月	6月
茨城県	日銀調べ	▲ 9.4	▲ 6.4	▲ 1.8	▲ 5.4	▲ 3.4	▲ 4.2	2.2
	経済産業省調べ	▲ 7.7	▲ 6.0	n.a.	▲ 6.4	▲ 5.3	▲ 6.1	p▲ 2.7
全国	経済産業省調べ	▲ 7.0	▲ 4.9	p▲ 3.5	▲ 4.9	▲ 3.7	▲ 3.9	p▲ 3.0

(注)茨城県・日銀調べは10か店ベース。経済産業省調べは既存店ベース。pは速報値。

7月の乗用車新車登録・販売台数は、減税・補助金の効果から環境対応車種を中心に引き続き前年を大幅に上回った。

▽ 乗用車新車登録・販売台数 (前年比、%)

	2009年 10～12月	2010年 1～3月	4～6月	2010年 4月	5月	6月	7月
茨城県	24.2	26.8	23.7	33.5	24.3	16.6	11.5
うち普通・小型	42.8	44.2	33.1	44.2	35.9	24.1	18.2
全国	19.3	24.1	22.0	26.4	23.0	18.1	12.9
うち普通・小型	35.0	40.8	28.1	36.8	29.9	21.0	15.5

家電販売状況を見ると、エコポイント制度の効果や、このところの猛暑の影響もあって、エアコンが大幅に伸びているほか、薄型テレビ、冷蔵庫、携帯電話、パソコン関連も堅調に推移しており、総じてみれば好調である。

### 3. 物価

消費者物価(除く生鮮食品)の前年比は、経済全体の需給が緩和状態にあるもとで下落しているが、基調として、下落幅は縮小している。

▽ 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2009年 10～12月	2010年 1～3月	4～6月	2010年 3月	4月	5月	6月
茨城県	▲1.9	▲1.2	n.a.	▲1.3	▲1.3	▲1.1	n.a.
全国	▲1.8	▲1.2	▲1.2	▲1.2	▲1.5	▲1.2	▲1.0

### 4. 金融

#### (1) 預金・貸出

6月末の県内金融機関の預金残高は、14兆1,959億円(前年比+1.9%)と堅調な伸びを示した一方、貸出残高は、7兆4,337億円(同▲0.9%)と、企業の資金需要の低迷などを背景に、4か月連続で前年を下回った。

#### (2) 貸出約定平均金利

県内金融機関の6月末貸出約定平均金利(ストックベース)は、2.327%(うち短期2.462%、長期2.265%)と前月を若干上回った。

#### (3) 銀行券

7月中の銀行券の動きをみると、発行が472億円、還収が119億円で353億円の発行超となった(2009年7月は329億円の発行超)。

#### (4) 企業金融

企業の資金繰りは、中小企業を中心になお厳しいとする先が多いが、一部の先では、引き続き改善の動きがみられている。

### 5. 企業倒産

7月の企業倒産(負債総額10百万円以上)をみると、件数は引き続き前年を下回ったが、負債金額は大口倒産の発生から前年に比べて倍増した(当月は、負債総額100億円超の大口倒産が、2009年8月以来11か月振りに発生した)。

以上